

## 和歌山県における

# 中学校武道必修化に向けた取組

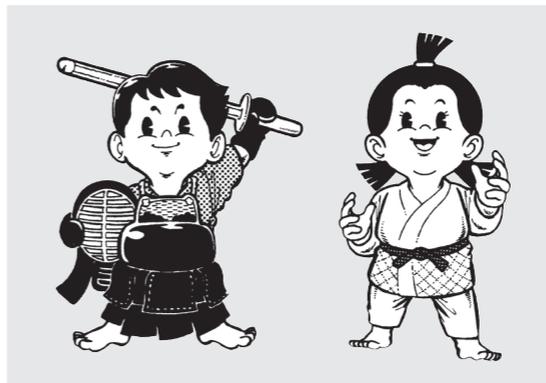
和歌山県教育庁学校教育局健康体育課

和歌山県教育委員会では、平成24年度からの中学校保健体育科における武道必修化に向け、改善に向けた取組を実施してきました。  
本号で、本県が実施した取組概要について紹介します。

## 1 はじめに

平成20年3月に中学校学習指導要領が告示され、武道が必修となる前の本県の武道授業実施状況は、武道の専門技能や知識を有しない状況であった。

そこで本県では、平成24年度から全中学校での武道必修化に向けて、できる限り早い時期から実施に向けた準備に取り組む必要があると考え、課題である「授業内容の充実」「指導力の向上」「外部指導者の活用」「武道教育における安全指導」の観点から改善に向けた取組を実施した。



## 2 授業内容の充実

「中学校武道必修化に向けた地域連携指導実践校事業」等の実施

武道の専門技能や知識を有しない教員の多くは、指導に不安を抱えているものが多く、教員のみで指導では、安全面を含めて授業内容を充実させることは困難であると考えた。そのため、平成20年度から文部科学省委託の「中学校武道必修化に向けた地域連携指導実践校事業」を受け、実践校を設け外部指導者とのTT（ टीम ティーチング）により授業内容の充実を図った。

委員会担当者等を対象とした協議会を設置し、様々な角度から本事業の検討を行った。有識者として大学教授や武道団体等の講師を招聘し、「外部指導者の効果的な活用」「単元計画」及び「評価規準」の作成等の担当教員が不安に感じていることについての助言をいただいた。

その後、協議会での検討内容を踏まえ、各実践校で外部指導者を活用した授業を行うとともに、研究授業を公開することで、県内全域へも発信した。また、年度末には、まよめの協議会を行い、成果と課題を明確にして次年度へと繋げた。加えて、平成22・23年度においては、県単独の予算も併せ文部科学省の事業を拡大して授業内容の充実に努めた。追加した実践校の内訳は、剣道4校、空手道2校、合気道1校の合計7校である。

具体的には、同事業を平成20～23年度までの4年間にわたって実施し、県内全域から合計14校の実践校（柔道7校・剣道6校・空手道1校）で研究を行った。

まず、各実践校で武道の授業が開始されるまでに、実践校担当教員、実践校を所管する市町村教育

### 〈武道実技講習会〉



中段の構え



間合いの攻防



段階的指導や安全面に関する講義



工夫した受身の指導方法



授業風景



グループで協力しての剣道具の装着



授業風景



外部指導者による指導



授業風景



外部指導者による指導

両事業における共通の成果として、まず、「授業内容の充実」が挙げられる。担当教員が武道の経験が全くなかったため、外部指導者と連携し技能面における指導の補助をいただくことで、武道の魅力が伝えられる授業づくりができた。授業前後に行なった生徒へのアンケート調査からも明らかであり、剣道実践校においては、「授業実施前、剣道について「痛そう」「辛そう」「難しそう」というマイナスイメージの感想が多かったが、授業後のアンケートでは、外部指導者の厳しい指導の中にもユーモアを交えた指導で、「試合がおもしろかった」「紐を結ぶのがややこしかったけど、楽しかった」「来年もやりたい」等の前向きな感想がかなり増えた。

また、教員の指導力を向上させる面においても有効であり、担当教員からは「指導におけるポイントやテクニクが分かり、自信が持てた」等の感想が聞かれ、次年度以降において教員が単独で指

導する際の大きな手掛かりとなった。

このように、日本の伝統文化に触れさせ、保健体育科が目指す、子どもたちの「生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現」へと繋げる意味においても大きな成果を得られたと考えている。

得られたと考えている。

課題としては、一部の実践校において外部指導者の指導に頼りすぎ、担当教員自身の指導力向上に繋がっていない面もあり、適切な連携という点では、まだまだ研究を重ねていく必要があった。

ている。

平成20年から24年までの5年間で、柔道の講習会では187名、剣道は84名の受講者があり、以前に比べ参加率も大幅にアップし、教員自身の必修化に対する心構えが窺えた。実技講習会の内容における工夫点としては、講師から受講者への一方通行の単なる技能や知識の伝達のみにならないように「模擬授業」や「意見交換・情報交流」の時間を設け、受講者自身にも自分の考えで活動する機会を多

### 3 指導力向上

#### 実技講習会の充実

武道という特殊性から、体育科の教員であっても、自身の専門種目でなければ自信をもって授業を指導することは困難であるため、必修化に向けて教員の指導力を向上させることが急務であった。そのため、従来から実施していた「柔道実技講習会」の一層の充実を図るとともに、新たに剣道実技講習会の開催に取り組んだ。また、より多くの教員が受講しやすいように、県内の北部・南部の2会場で

開催した。

#### ①指導者養成講習会

- ・柔道、剣道（各年間2回）
- ・指導者養成を目的に、入門編として、中学校1・2年の授業指導レベル

#### ②指導力向上講習会

- ・柔道、剣道（各年間2回）
  - ・学習指導要領上、他領域との選択履修となることを踏まえ
  - ・応用編として、中学校3年・高等学校の授業指導レベル
- どちらも2日間の日程で開催し

### 4 外部指導者の活用

#### 競技団体等との連携と外部指導者講習会の実施

必修化にあたり、前述の実技講習会を実施し指導力向上を図る傍らで、外部指導者を活用した授業を実施する学校も増えてくるだろうと考えた。そのためには、武道

く取り、今後に繋がるものを持ち帰ってもらおうとした。その効果もあって、受講者に対して行ったアンケート調査結果では、「他の先生方の指導法が非常に参考になった」「授業に即役立つ内容であった」「初心者でも分かりやすい内容だった」「今後の指導に自信が持てた」と非常に好評であり、指導力向上に大きく貢献できたと考えている。必修化となった平成24年度以降も実施し、指導力向上に努めている。

の競技団体に協力を得ることが不可欠であり、平成22年12月に「和歌山県武道連絡協議会」を開催し、本県体育協会に加盟している武道11団体に武道必修化等に関する説明を行うとともに、外部指導者として要請があった場合の協力

を依頼した。因みに、本県中学校における武道実施種目は多様であり、大多数の学校が柔道か剣道のどちらかを実施しているものの、相撲、合気道、空手道、なぎなた、少林寺拳法といった武道も少数であるが、地域や学校の実態に応じて実施されている。

また、外部指導者を活用するにあたっては、事前に授業への関わり方、学習指導要領に示す指導内容、学校教育全般に関する内容等を理解いただく必要があることか

ら、平成23年3月、外部指導者として既に活動している方や希望者を対象に「外部指導者講習会」を開催し、円滑な活用が展開できるよう体制を整えた。各競技団体から合計約130名の参加者があり、改めて武道必修化に向けた各競技団体における注目度の高さを感じた。

その他、柔道・剣道に関しては、競技団体に加え、和歌山県警とも連携して指導者派遣体制を整えている。

② 加速損傷・脳震盪・熱中症等に  
関すること

③ 過去の事故データや判例  
を取り扱った。

また、今年度、文部科学省が実施した「柔道の指導体制」の調査において、調査項目に課題がある  
と回答した学校に対しては、市町  
村教育委員会と連携を図り、課題  
解決に向け追跡調査を行い、状況  
改善に努めた。

その他、前述の実技講習会や体  
育学習研修会等あらゆる機会を通  
して、安全指導に関する時間を設  
定し、徹底を図っている。

## 5 武道教育における安全指導

**安全管理講習会の実施及び徹底指導**

安全管理講習会の実施及び徹底指導

年5月、県内全中学校・高等学校の武道教育に携わる教員を対象に「安全管理講習会」を実施し、より安全な授業実施に向け周知徹底を図った。

講習会の内容については、  
① 指導上の配慮事項

紹介したように、本県では、平成20年から必修化に向けて、改善に向けた取組を実施してきた。その成果もあって、順調に必修化を進めることができ、その後2年近くが経過しようとしている。今後も引き続き、武道の特性を十分味わうことができ、生徒主体で学びの多い魅力ある授業が展開できるよう研究を続けていきたい。

また、何よりも重要な安全面に  
関して、本県では重大な事故は発

公益財団法人講道館道場指導部課長  
**向井幹博**  
(むかい みきひろ) 著

# 役に立つ 少年柔道指導法



DVD付き  
役に立つ 少年柔道指導法

向井 幹博

収録時間170分を超える  
解説DVD付属!

少年柔道指導の現場で役に立つ好評連載を単行本化。付録のDVDには、写真では伝わりにくかった部分を映像で紹介。  
また、少年柔道が抱える様々な問題を、講道館所蔵の柔道文献から、解決の糸口を探っていく。

〈目次〉

第1部 解説編	第9章 少年柔道の未来のために
第一章 少年柔道は柔道指導の原点	第二章 礼法の指導
第二章 基本動作の指導	第三章 受け身の指導
第三章 技の指導	第四章 基本動作の指導
第四章 教育の中の柔道	第五章 トレーニング法の指導
第五章 指導の工夫	第六章 柔道の練習法
第六章 少年規定の変遷と問題点	第七章 投げの指導
第七章 柔道の安全指導	第八章 固技の指導
第八章 東日本大震災への講道館の対応	

好評発売中!

A5判・並製・DVD付・414頁・本体2,400円+税



編集・発行 日本武道館

〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3  
ホームページhttp://www.nipponbudokan.or.jp

お問い合わせ・ご注文は  
日本武道館出版広報課  
までどうぞ!

TEL03(3216)5147  
FAX03(3216)5158